討議資料

宇田川よしひで 市議会ニュース

vol.17
2009年7月

川口市議会議員
宇田川 好秀

ご挨拶

雨にあらわれ、新緑が更にまばゆく輝かしい季節となりました。

気がつけば、今年も半年が過ぎ、未曾有とも言われる経済不況にあって、市政を取り巻く状況は、厳しさを増しております。こうした中、中小企業の経営と市民生活の安定が望まれており、政治の世界の中で、市民の皆様とともに様々な問題に直面しております。更には、保険・福祉・医療・環境、そして何より均衡ある地域の発展等、山積する諸問題解決に向け取り組むとともに、政治の原点である『市民の声に耳を傾けること』を信条に、自分の考えをしっかりと主張するとともに、皆様の身近な議員として活動してまいります。ご指導ご鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。

平成21年6月 市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告（抜粋）

平成21年6月8日～26日までの19日間

第4次川口市総合計画の策定について

昨年、総合計画審議会において、基本構想案の審議を重ね、10月までに一通り審議を終了いたしました。

将来都市像を「緑　うるおい　人　生き活き　新産業文化都市　川口」とし、計画期間につきましては、現行の10年間を平成22年4月から平成34年3月までの12年間としました。今後の社会情勢に柔軟に対応できるよう、平成22年4月から平成28年3月までの6年間を前期基本計画、その後の6年間を後期基本計画としております。

今後は、基本構想の修正案とこれに基づく前期基本計画案について総合計画審議会において審議をし、基本構想案につきましては、地方自治法の規定により議会にはかることになります。

定額給付金について

川口市では、早急に準備体制を整え、3月19日から約23万世帯に申請書を送付するとともに、全国の人口20万人以上の都市では一番早く、3月26日から給付を開始したところであります。

5月末現在、対象世帯数の約87％、20万世帯、人数にして約92％、47万人の市民の皆さんに総額約70億円を給付いたしました。

景気が後退する中、この給付金が市民の皆さんの生活支援の一助となり、また、この給付金を受け取られた方が市内でお使いいただくことで、本市経済の活性化にもつながっていくものと期待しています。

なお、定額給付金は世帯主に対して、その世帯に属する家族全員分が給付されるため、ドメスティックバイオレンスいわゆるDV被害者、例えば、世帯主である夫の暴力を避けて別居中の妻がこの給付金を受け取れないことが問題となっているところであり、そこで、福祉・生活支援の観点から、被害者を救済すべく、DV被害者や被害者の子どもたちに対しても、市独自に定額給付金と同額の「川口市生活支援特別給付金」を支給することといたしました。

妊婦一般健康診査について

妊娠中の疾病や異常を早期に発見し、安全な出産を迎えるために、川口市では、昨年度から、それまで2回であった妊婦一般健康診査の公費負担を5回に拡充いたしましたが、国では、全妊娠期間において受診することが望ましいとされる14回まで公費負担を行う方針を打ち出し、拡充する9回分については、平成22年度までの期限を設けて、市町村に対する財政支援措置を講じました。

川口市では、本年4月から、妊婦一般健康診査の公費負担をさらに14回に増やすとともに、これまで35歳以上の妊婦を対象に、1回に限り公費負担を行っていた超音波検査につきましても、全ての妊婦を対象に、4回の公費負担が受けられるよう制度の拡充を図りました。

しかしながら、このたびの国の財政支援は平成22年度までとされていることに加え、国民の生命、健康に係る施策は、国が責任を持って制度化すべきものであるにもかかわらず、公費負担回数や内容等は各自治体の判断とされている。

学校教育について

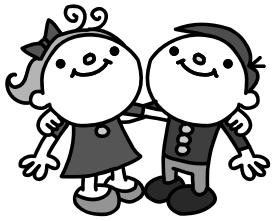
学校運営協議会の設置に向け、市立飯仲小学校において本年4月から埼玉県内で初めてとなる学校運営協議会を同校に設置いたしました。4月23日には、第1回の学校運営協議会が開催され、学校経営方針、教育課程の編成、教職員の組織編成など校長が作成した基本的な方針が承認され、学校と学校運営協議会が一体となり、新たな教育活動が展開されているところです。

学校運営協議会は、校長が作成した重要事項である教育課程の編成などについて基本的な方針を承認する権限が与えられるとともに、学校職員の人事に対して意見を述べることができ、教育委員会はその意見を尊重しなければならないとされています。

国際学習到達度調査（PISA）によりますと、日本の子どもたちの学力は低下傾向にある一方で、フィンランドは、全ての分野でトップレベルの成績をおさめており、世界最高の教育水準を誇る国として諸外国からも注目されています。

そこで川口市では、本年度から2ヵ年間、日本・フィンランド学校プロジェクトに参加し、フィンランドへの現地視察など相互の交流を通して教育システムやカリキュラム、指導方法の違いなどを広く研究することにしました。

去る3月にはフィンランドから、3名の視察団が本市を訪れ、学校訪問や教員とのディスカッションをとおし、このたびの比較研究の対象とすべき項目や指標の洗い出しについての意見交換が行われました。また、5月には川口市から8名の視察団がフィンランドを訪問し、教員養成課程の見学、授業参観や研究協議などを行ったところであります。



緑化の推進について

都市化の進んでいる川口市において、建物の屋上を利用し緑を増やすことは有効な緑化手法の一つであり、市内において、先進的な屋上緑化技術の開発も行われ、都市特有の環境問題として深刻化するヒートアイランド現象を緩和する効果も期待されています。

本年４月より屋上緑化奨励補助金の限度額を10万円から40万円に引き上げるとともに、補助対象者につきましても建物の所有者のほか、新たに建築主を加えることにより、新築マンション等もこの制度の活用を可能とし、さらなる屋上緑化の普及拡大を図ることといたしました。

地球高温化対策について

川口市では、誰もができる身近な温室効果ガス削減の取り組みとして始まったエコライフＤＡＹは、小・中・高等学校の児童生徒を中心に市民生活に浸透し、川口市の地球高温化対策の主要な取り組みへと大きく成長しました。

本年度は、エコライフＤＡＹに加え、「チャレンジ・エコライフ」を初めて実施し、各家庭の８月分の電気とガスの消費量を前年の同じ月と比較してどれだけ削減できるか省エネを実践していただき、排出される二酸化炭素の削減にチャレンジする取り組みです。身近な家庭生活から環境を見直すきっかけとしていただきたいと存じます。

また、エコライフＤＡＹにあわせたＮＯレジ袋推進ＤＡＹの設定やクールアース・デーでのイベント開催、グリーンカーテン大作戦の拡大など推進してまいります。

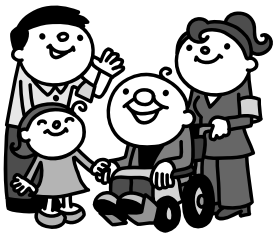
バリアフリー基本構想の策定について

川口市では、公共施設や鉄道駅のバリアフリー化等を促進するとともに、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、まちづくり全体を視野に入れた高齢者・障害者等の移動の妨げとなる様々な障壁を解消することを目的に、「川口市バリアフリー基本構想」の策定に向け取り組んでまいりました。

策定にあたりましては、多くの皆さんから様々なご意見をいただくため、市民や学識者、公共交通事業者等30名を超える委員で構成される協議会を設け、高齢者や障害者の皆さんを対象とした市民アンケート調査や、移動の妨げとなる障壁が街なかにどの程度あるのかを実際に体験する市民参加型のタウンウォッチング、さらにパブリックコメントによる意見聴取等を実施し、基本構想をとりまとめました。

基本構想では、「人　生き活き　安全・安心　バリアフリーのまち　川口」という基本目標を掲げ、バリアフリー整備を先行して行う重点整備地区を定めるとともに、各重点整備地区における道路、公園、建築物等の面的な広がりを考慮した整備方針等を盛り込み、ＪＲ川口駅、西川口駅及び東川口駅周辺地域等における各種施設のバリアフリー化を進めるとともに、高齢者、障害者の皆さんの視点に立った利用施設の情報提供や案内看板整備、バリアフリー教育といったソフト対策にも触れ、各種事業を計画的に推進していく内容であります。

今後は、障害のあるなしにかかわらず、誰もが住みやすいと感じる、人にやさしいまち、安全で安心して暮らせるまちの実現を目指して、バリアフリー社会の構築に取り組んでまいります。



ボランティア団体による「万葉植物苑」の取り組みについて

川口市では、郊外に残された貴重な緑地を保全すべく、これまでも保全緑地等の公有地化に努めて参りました。「安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地」もその一つであります。この保全緑地を管理・保護する地元のボランティア団体「安行みどりのまちづくり協議会」の皆さんの手により、昨年公有地化を行った土地を活用し、緑地の整備がなされ、「万葉植物苑」として、本年４月に開園をいたしました。万葉集に詠まれている約１６０種の植物のうち、約１２０種が一堂に集められており、川口市の新たな名所となるものであります。

万葉植物苑開園に伴い、みどりのまちづくり協議会小林会長・岡村市長とともに記念植栽をさせていただきました。

FAX送信用紙

宇田川よしひで宛　FAX.048-296-7070

市政全般について、あなたのご意見をお待ちしております

フリガナ				
お名前				
ご住所	（〒　　-　　）			
ご連絡先	電話番号		FAX	
	携帯電話		Eメール	

編集発行

川口市議会議員

宇田川　好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131
FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社